

乳牛を暑さから救うミストノズルの設置方法

近年の温暖化によって、県内においても夏季の気温が上昇しています。特に暑さに弱い乳牛の飼養管理において、暑熱ストレスを軽減させるためのミストノズルの設置方法を明らかにしました。

研究成果の概要

1 背景・目的

乳牛は暑さに弱く、暑熱ストレスによって乳量の減少や繁殖機能の低下などが問題となっています。送風機による牛舎内の暑熱対策は一般的ですが、送風機だけの対策では近年の温暖化による夏季の気温上昇には対応できない状況です。

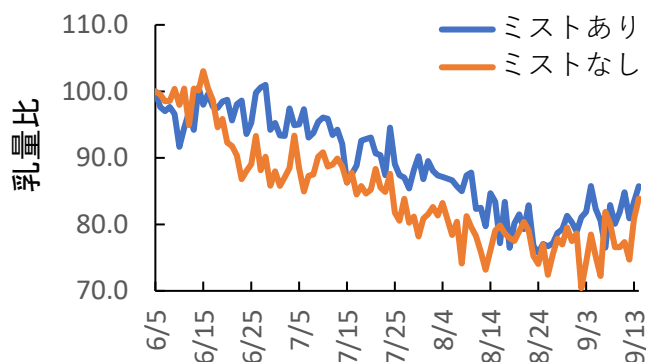
そこで、簡易にできる暑熱対策の1つであるミスト噴霧において、効果的なミストノズルの設置方法を明らかにしました。

2 内容

- ミストノズルは、牛にミストが当たるように設置すると、ミストと送風機の効果によって暑熱ストレスによる乳量の低下が軽減できることがわかりました。
- 令和5年度の試験成績では、試験期間（6/5～9/13）の乳量比※での比較で、ミストによって4.7%乳量の減少を抑えることができました。



牛舎でのミスト噴霧



乳量比の比較(令和5年度)

3 活用等

ミストノズルの設置方法を県の指導機関に公表し、技術指導に活用されています。

※ 乳量比：試験開始時の乳量を100としたときの指数

関連情報

- ミスト噴霧により湿度が上昇するため、降雨時などには注意が必要です。
- 暑熱対策には牛舎屋根の断熱など様々な方法があり、各牧場にあった対策を選択する必要があります。

